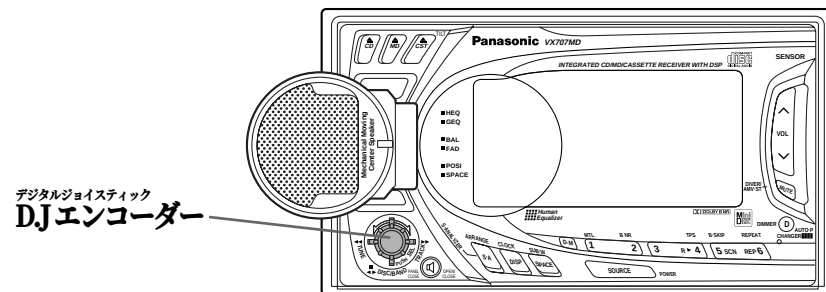


サウンド設定

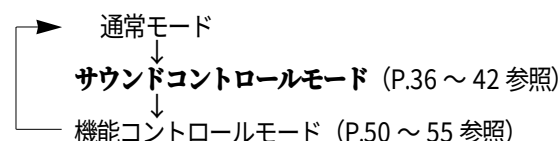


サウンドコントロールモードにする

モードセレクト

D.J エンコーダー (SEL ボタン) を押す。

- ボタンを押すごとに、モードが次のように切り替わります。



お知らせ

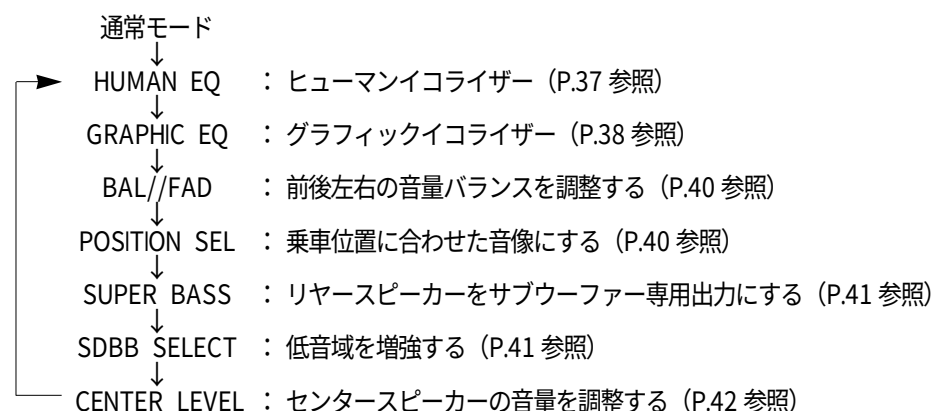
設定・調整の途中では通常モードのボタン操作ができませんので、いったん通常モードに戻してください。

サウンド設定の機能を選ぶ

サウンドコントロールモード

D.J エンコーダー (SEL ボタン) を押してから、回す。

- 右に回すと、次のように切り替わります。(左に回す：逆回り)



お知らせ

各機能が表示されている間 (約10秒間) に次の操作をしないと、自動的に通常モードに戻ります。

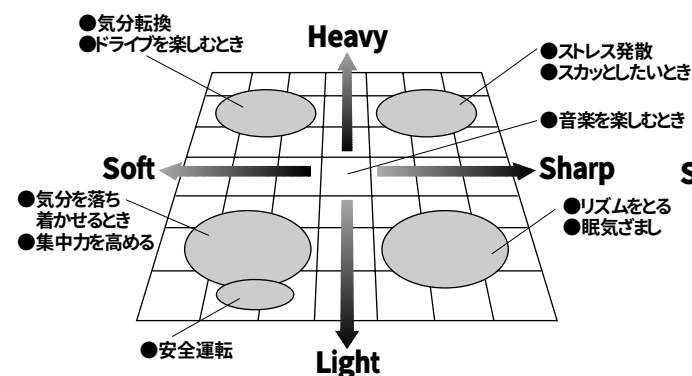
● ヒューマンイコライザー

HEQ

HEQの音質調整には2つのモードがあります。HEQ設定で、どちらかに設定してください。(P.55 参照)

HEQ ノーマルモード

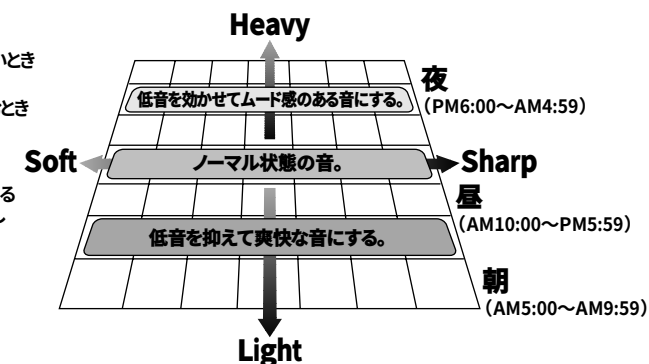
49パターンの中から音質を選び、複雑なイコライザー調整が簡単にできます。音楽ソフトのジャンルや自分の気分に合った音質を設定してください。



センターをFLAT (0) とし、主に縦軸で低音域の豊かさ、横軸で高音域の明快さを調整します。
[初期設定: FLAT (0), 調整範囲: 各1~3 (49種類)]

HEQ DAY&NIGHTモード

朝・昼・夜の時間帯によって、音質が自動的に切り替わります。朝は低音を抑えて、夜は低音を効かせます。それぞれの時間帯で7パターンの中から音質を選べます。



調整は、横軸 (高音域の明快さ) のみとなります。

お知らせ

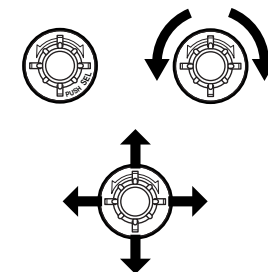
時計調整されていないときは、DAY&NIGHTモードを選択できません。(P.55 参照)

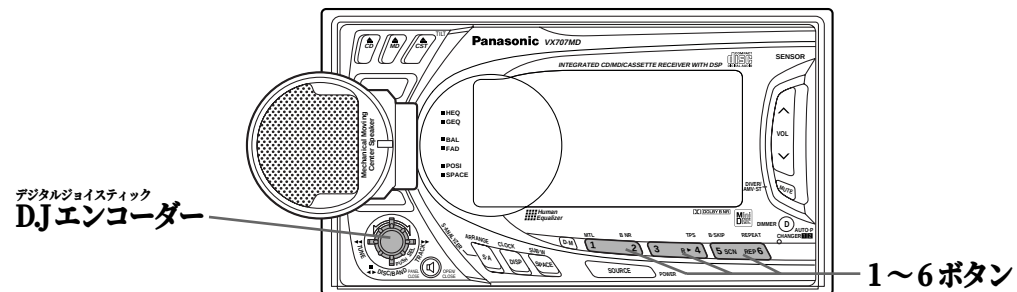
① 機能を“HUMAN EQ”にする。(P.36 参照)

② D.J エンコーダーを倒す。

- ↑ (HEAVY) : 豊かな低音に変化する。
 - ↓ (LIGHT) : 軽快な低音に変化する。
 - ← (SOFT) : 柔らかな高音に変化する。
 - (SHARP) : 歯切れのよい高音に変化する。
- * 設定がDAY&NIGHTモードのときは、横軸の調整のみ。

- HEQ 表示部の中でカーソルが移動し、調整した位置で点滅します。
- 調整中は EQ インジケーターが点滅し、設定されると点灯します。





● グラフィックイコライザー

GEQ

音質を周波数ごとに調整する

GEQ調整は、周波数の帯域ごとのレベル調整で、自分好みの音質を設定できます。
[初期設定：各周波数とも0 dB, 調整範囲：-12 dB ~ +12 dB (2 dBごと)]

① 機能を“GRAPHIC EQ”にする。(P.36 参照)



② D.J エンコーダーを左右に倒し、周波数を選択する。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)

80 → 160 → 320 → 640 → 1.6 k → 4 k → 10 k (Hz)

- カーソルが左右方向に移動し、選択している周波数が点滅します。



③ D.J エンコーダーを上下に倒し、レベルを調整する。

- ↑ : レベルが上がる。
- ↓ : レベルが下がる。

- カーソルが上下方向に移動し、調整したレベルで点滅します。



※ ②③を繰り返して、各周波数のレベルを設定します。

- 調整中は EQ インジケーターが点滅し、設定されると点灯します。

調整した音質をメモリーする

GEQメモリー

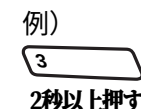
GEQ調整した音質（GEQカーブ特性）を、1 ～ 6ボタンにメモリーすることができます。
(6パターンまで可能)

① 機能を“GRAPHIC EQ”にする。(P.36 参照)



② 操作パネルの1～6ボタンの何れか一つを、2秒以上押す。

- 現在のGEQカーブ特性が、押したボタンにメモリーされます。
- メモリーが完了すると、プリセットメモリー番号表示が点滅します。



お知らせ

GEQメモリーをすると、前にメモリーされていたGEQカーブ特性が消去され、新しいGEQカーブを上書きします。

音質のメモリーを呼び出す

GEQメモリー呼び出し

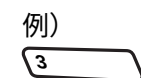
メモリーしたGEQカーブ特性を、ボタン1つの操作で呼び出すことができます。

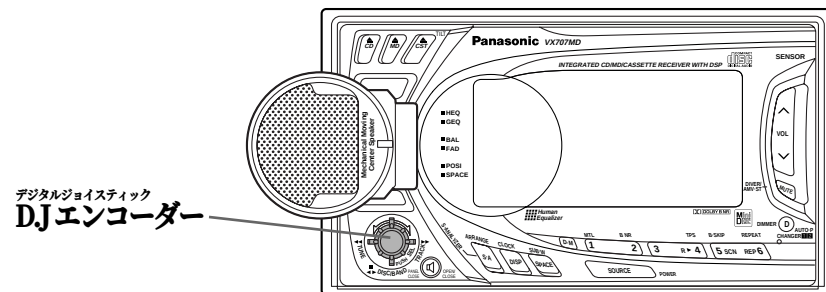
① 機能を“GRAPHIC EQ”にする。(P.36 参照)



② 操作パネルの1～6ボタンの何れか一つを押す。

- メモリーされているGEQカーブ特性を呼び出します。





● 前後左右の音量バランスを調整する

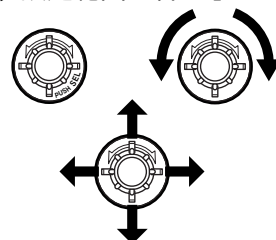
バランス/フェダー

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。
[初期設定：CNT（センター），設定範囲：各15]

① 機能を“BAL//FAD”にする。(P.36 参照)

② D.J エンコーダーを上下左右に倒して音量レベルを調整する。

- ↑ (FRONT) : 前を強調する。
- ↓ (REAR) : 後ろを強調する。
- ← (LEFT) : 左を強調する。
- (RIGHT) : 右を強調する。



● 乗車位置に合わせた音像にする

ポジション

乗車位置や人数に合わせて、音像を聴く人のいる位置に調整することができます。[初期設定：OFF]

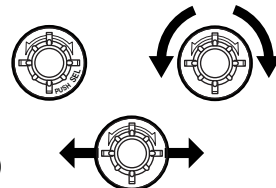
① 機能を“POSITION SEL”にする。(P.36 参照)

② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)

OFF (全席) → RIGHT (前席右) → LEFT (前席左)
↑
REAR (後席) ← FRONT (前席)

- 調整中は POSI インジケータが点滅し、設定されると点灯します。



● リヤースピーカーをサブウーファー専用出力にする

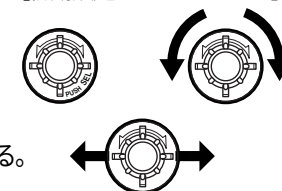
スーパーベースコントロール・サブウーファー (SBC-SW)

内蔵アンプ接続のリヤースピーカーをサブウーファーとして活用し、重低音が楽しめます。[初期設定：SBC-SW OFF]

① 機能を“SUPER BASS”にする。(P.36 参照)

② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- ← (SBC-SW OFF) : 汎用のリヤースピーカーを接続しているときに設定する。
通常のステレオ出力（高音域をカットしない）
- (SBC-SW ON) : リヤースピーカーをサブウーファーとして活用したい
ときに設定する。モノラル出力になる。



お知らせ

- リヤースピーカーから出力する低域周波数の上限（カットオフ周波数）をDDBCで設定し (P.45 参照)、音量レベルをフェダーコントロールで調整してください。(P.40 参照)
- リヤースピーカーから音が出るタイミング（ディレイ時間）は、DDBCで調整してください。(P.45 参照)

● 低音域を増強する

スーパーダイナミックバスブースト (SDBB)

内蔵アンプ接続の4スピーカーから出力される低音域を増強して、重低音が楽しめます。[初期設定：SDBB OFF]

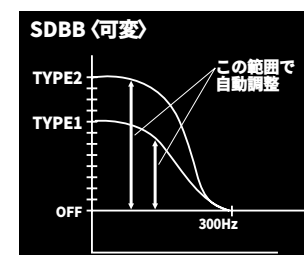
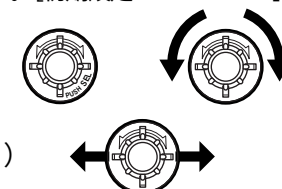
① 機能を“SDBB SELECT”にする。(P.36 参照)

② D.J エンコーダーを左右に倒す。

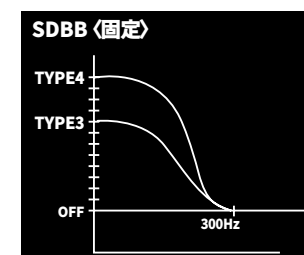
- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)

SDBB OFF : 通常のステレオ出力（低音域を増強しない）
↓
SDBB TYPE 1 : 可変・弱
↓
SDBB TYPE 2 : 可変・強
↓
SDBB TYPE 3 : 固定・弱
↓
SDBB TYPE 4 : 固定・強

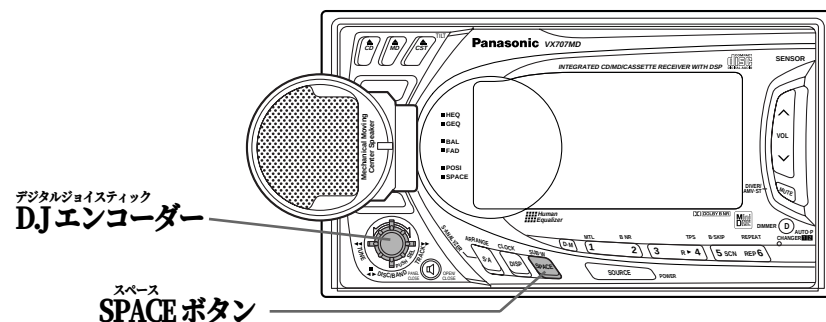
- 設定されると SDBB インジケータが点灯します。



低音入力レベルに合わせてバランスよく調整され、常に最適レベルの重低音を自動的に出力します。



とにかく迫力のある低音が欲しいときに使用します。強/弱が選択できます。



● センタースピーカーの音量を調整する

音量調整の手順

※ センタースピーカーを開いてください。(P.13 参照)

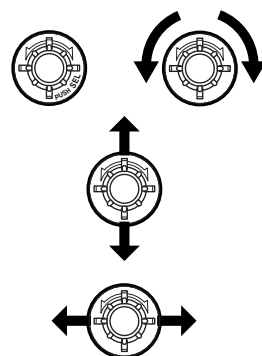
1. 音量レベルを調整する
DSP効果を付加しない（ディレイ時間：0 ms, SPACE（スペース）：SPACE OFF）でヴォーカル等の中音域が前方の中心付近に定位するように調整してください。
2. ディレイ時間やSPACE（スペース）を調整する
3. 音量レベルを再調整する
SPACEの設定に合わせて、センタースピーカーの音量レベルを再調整してください。

① 機能を“CENTER LEVEL”にする。(P.36 参照)

② D.J エンコーダーを上下に倒し、調整項目を切り替える。

- ↑ (CENTER LEVEL) : 音量レベルの調整
- ↓ (CENTER DELAY) : ディレイ時間の調整

③ D.J エンコーダーを左右に倒して、調整する。



CSP 音量レベル

[初期設定：0 dB, 調整範囲： $-\infty$ dB, -10 dB $\sim$ $+10$ dB (2 dBごと)]

- ← : レベルが下がる。
- : レベルが上がる。

$-\infty$ dB, -10 dB ← 0 dB → $+10$ dB

$-\infty$ dB : センタースピーカーから音が出なくなる。

● センタースピーカーの音量を調整する (つづき)

CSP ディレイ時間

車の大きさやスピーカーの取付位置に合わせてセンタースピーカー出力の耳に届くタイミングを時間差（ディレイ時間）を与えて調整し、ボーカルの音像が車のフロント中央付近に定位するように設定します。 [初期設定：0 ms, 調整範囲： -10 ms $\sim$ $+10$ ms (1 msごと) ※1 ms = 0.001 秒]

- ← : ディレイ時間が短くなり、ボーカルがより近くに聴こえる。
(他のスピーカーよりも、センタースピーカーの出力の方が早くなる。)
- : ディレイ時間が長くなり、ボーカルが離れて聴こえる。
(他のスピーカーよりも、センタースピーカーの出力の方が遅くなる。)

-10 ms ← 0 ms → $+10$ ms

0 ms : 他のスピーカーとセンタースピーカーの出力タイミングが同じになる。

※ 音場設定で、さらに臨場感のあるサウンドを楽しむことができます。

音場を再現する

SPACE（スペース）

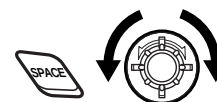
実際に演奏会場にいるような音場（スペース）を車室内に再現できます。[初期設定：SPACE OFF]

SPACE ボタンを押してから、D.J エンコーダーを回す。

- 右に回すと、次のように切り替わります。(左に回す：逆回り)

SPACE OFF → LIVE HOUSE → CONCERT HALL
CINEMA ↓ JAZZ CLUB
VOCAL ← DISCO ← STADIUM

- 音場を設定すると、SPACE インジケーターが点灯します。



お知らせ

ダイレクトメモリーで放送局を受信しているときは、SPACE（音場）の設定が無効になります。(P.48 参照)

音場空間の広がり进行调整する

WIDE/NARROW

設定した音場に対して、さらに空間の広がり进行调整できます。[初期設定：0, 設定範囲： -3 $\sim$ $+3$]

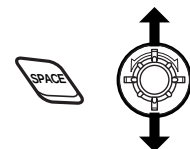
SPACE ボタンを押してから、D.J エンコーダーを上下に倒す。

- ↑ (WIDE) : 音場空間が広がる。
- ↓ (NARROW) : 音場空間が狭くなる。

例) 音場効果設定が“HALL”の場合

WIDE..... 大きいホールの雰囲気を実現します。

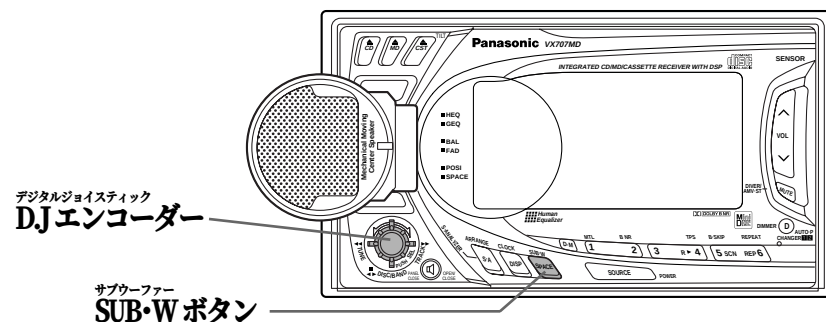
NARROW..... 小さいホールの雰囲気を実現します。



お知らせ

音場は、DVD IN 以外のサウンドソース (FM, AM, CD, MD, TAPE, CHANGER, AUX IN) ごとに設定できます。

サブウーファー出力設定



設定する機能を選ぶ

デジタルダイナミックベースコントロール (DDBC)

※ 別売のパワーアンプ (CY-M9054D等) やアンプ内蔵サブウーファー (CJ-BL100D等) をサブウーファー出力端子 (SUB・W-OUT) に接続してください。 (P.64 参照)

サブウーファー用外部アンプやアンプ内蔵サブウーファーを接続すると、本格的なハイパワーサウンドが楽しめます。

SUB・W ボタンを2秒以上押してから、D.J エンコーダーを回す。

- 右に回すと、次のように切り替わります。(左に回す：逆回り)



- DDBC LEVEL : 音量レベルを調整する (P.44 参照)
- ↓
- DDBC DELAY : 出力タイミングを合わせる (P.45 参照)
- ↓
- FREQ. SELECT : 高音域をカットして低音の厚みを調整する (P.45 参照)

- 調整中は DDBC インジケーターとサブウーファー出力表示部が点滅し、設定されると点灯します。

お知らせ

- 各機能が表示されている間 (約10秒間) に次の操作をしないと、自動的に通常モードに戻ります。
- DDBCは、モノラル出力です。
- SDBBの設定すると、さらに重低音の効果が得られます。 (P.41 参照)

● 音量レベルを調整する

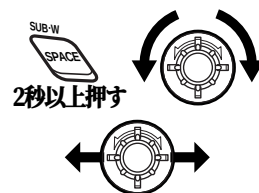
DDBC 音量レベル

[初期設定：0 dB, 調整範囲： $-\infty$ dB, -10 dB $\sim$ $+10$ dB (2 dBごと)]

① 機能を“DDBC LEVEL”にする。

② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- ← : レベルが下がる。
- : レベルが上がる。



$-\infty$ dB, -10 dB ← 0 dB → $+10$ dB

$-\infty$ dB : サブウーファー出力端子に接続したアンプから音が出なくなる。

● 音の出るタイミングを調整する

DDBC ディレイ時間

車の大きさやスピーカーとサブウーファーの取り付け位置によって、スピーカー (内蔵アンプ出力) とサブウーファー (外部出力) の音が同時に出ていても、耳に届く音は距離差によりタイミングがずれてしまいます。サブウーファーの出力タイミングを調整して、音が耳に届く時間差 (ディレイ時間) をなくし、量感のある重低音を再生します。 [初期設定：0 ms, 調整範囲： -10 ms $\sim$ $+10$ ms (1 msごと) ※1 ms = 0.001 秒]

① 機能を“DDBC DELAY”にする。 (P.44 参照)

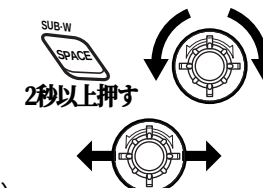
② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- ← : ディレイ時間が短くなる。
(スピーカーよりも、サブウーファーの出力の方が早くなる。)
- : ディレイ時間が長くなる。
(スピーカーよりも、サブウーファーの出力の方が遅くなる。)

-10 ms ← 0 ms → $+10$ ms

0 ms : スピーカーとサブウーファーの出力タイミングが同じになる。

- 調整すると、サブウーファー出力表示部が点灯します。



お知らせ

DDBCで調整したディレイ時間は、リヤースピーカーの出力にも反映されます。 (P.41 参照)

● 高音域をカットして低音の厚みを調整する

DDBC カットオフ周波数

出力する低域周波数の上限 (カットオフ周波数) 設定で、高音域をカットします。 [初期設定：OFF]

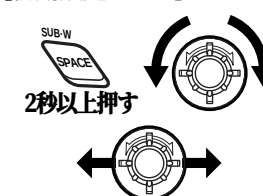
① 機能を“FREQ. SELECT”にする。 (P.44 参照)

② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)

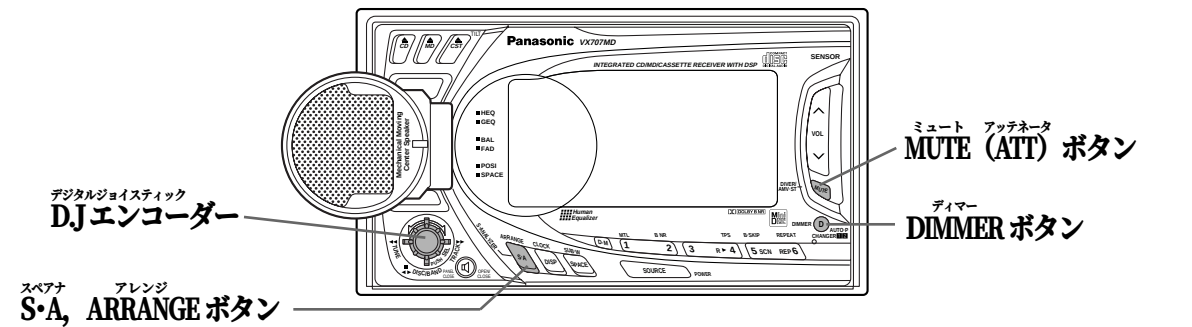
OFF → 100 → 150 → 200 (Hz)

OFF : 高音域をカットをしない通常のモノラル出力。



お知らせ

- 別売の外部アンプに内蔵されたカットオフ周波数や位相差調整機能を使用する場合は、本機のDDBC カットオフ周波数を“OFF”, DDBC ディレイ時間を“0 ms”にしてください。
- DDBCで設定したカットオフ周波数は、リヤースピーカーの出力にも反映されます。 (P.41 参照)



スペアナ表示を切り替える

14種類の中から、表示パターンを選ぶことができます。 [初期設定：DEMO（デモモード）]

S・A ボタンを押してから、D.J エンコーダーを回す。

● 右に回すと、次のように切り替わります。（左に回す：逆回り）

- ➡ ① DEMO : すべてのスペアナ表示を順番にデモンストレーションする。（デモモード）
- ↓
- ② WAVE : スペースファンタジーの幕開けを予感させるシンプルなスペアナ。
- ↓
- ③ AURORA : 天にかかるオーロラのイメージ。
- ↓
- ④ MILKY WAY : 宇宙空間に流れる雄大な天の川をイメージ。
- ↓
- ⑤ TWINKLE STAR : 無数の星の瞬く瞬間をイメージ。
- ↓
- ⑥ SUN : サンサンと降りそそぐ暖かさをイメージ。
- ↓
- ⑦ SPC SARGASSO : 漂流する星のかけらの果てしない旅をイメージ。
- ↓
- ⑧ SPACE WAVE : ②より大きなWAVEが、フェイスいっぱいに広がる。
- ↓
- ⑨ SPACE AURORA : ③より大きなAURORAが、フェイスいっぱいに広がる。
- ↓
- ⑩ PROMINENCE : 太陽の表面で燃え上がる炎をイメージ。
- ↓
- ⑪ METEOR : 無限に広がる宇宙空間を駆け巡る、流星群をイメージ。
- ↓
- ⑫ SPACE FEVER : ある周波数の一定のレベルをキャッチすると、スロットがフィーバー目指して回る。
- ↓
- ⑬ BLANK SPEANA : スペアナ表示だけを消灯する。
- ↓
- ⑭ ALL DISP OFF : ディスプレイ全体を消灯する。
● 操作をすると点灯し、操作を終えたあと（約5秒後）に再び消灯します。

お知らせ
デモモードでは操作ができないことがありますので、デモモード以外のスペアナ表示に切り替えてください。

スペアナ表示をアレンジする

スペアナアレンジ

それぞれのスペアナ表示ごとに、色調や動きのパターンを6通りに変化させることができます。 [初期設定：NORMAL]

操作パネルの ARRANGE ボタンを2秒以上押してから、D.J エンコーダーを右に回す。（左に回す：逆回り）

● スペアナ表示のアレンジが変わります。〈6種類〉

ARRANGE S・A 2秒以上押す

ディスプレイの明るさを設定する

ディマー

車のスモールライトが“ON”または“OFF”のときのディスプレイの明るさを、6種類の中からそれぞれ設定することができます。 [初期設定：ライトON時 FL : MI CFL : ON
ライトOFF時 FL : HI CFL : OF]

DIMMER ボタンを押してから、D.J エンコーダーを回す。

● 右に回すと、次のように切り替わります。（左に回す：逆回り）

- ➡ FL : HI CFL : ON
- ↓
- FL : HI CFL : OF
- ↓
- FL : MI CFL : ON
- ↓
- FL : MI CFL : OF
- ↓
- FL : LO CFL : ON
- ↓
- FL : LO CFL : OF

FL		表示部分
	HI	明るくなる
	MI	中間の明るさになる
	LO	暗くなる
CFL		操作パネルのまわり部分（照明部）
	ON	点灯する
	OF	消灯する

一時的に音量を下げる

ミュート／アッテネータ

MUTE (ATT) ボタンを押すと、一時的に本機の音量が下がります。音量の下がりかたは、設定（MUTE または ATT）によって異なります。（P.54 参照） [初期設定：MUTE OFF]

MUTE (ATT) ボタンを押す。

● ボタンを押すごとに、MUTE または ATT が “ON/OFF” します。

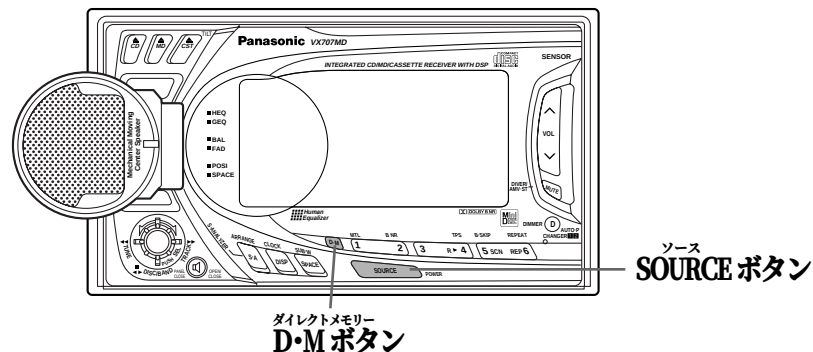
設定がMUTEの場合 **設定がATTの場合**

➡ MUTE OFF : 通常の音量。 ➡ ATT OFF : 通常の音量。

↑ ↓ ↑ ↓

➡ MUTE ON : 本機の音量が 0（無音）になる。 ➡ ATT ON : 本機の音量が約 1/10 に下がる。

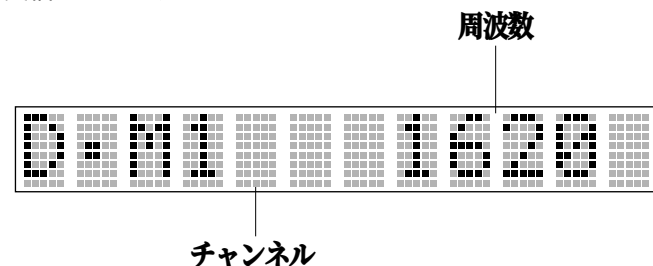
● ミュート／アッテネータが“ON”のときは、MUTEインジケーターが点滅します。



交通情報を受信する

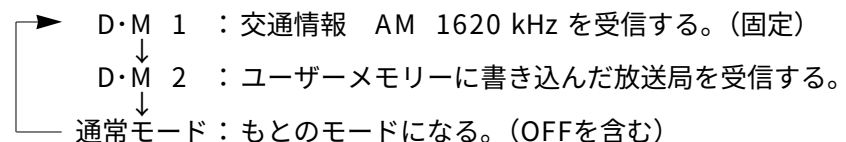
ダイレクトメモリー (D・M)

交通情報とメモリーさせた好みの放送局を、ボタン1つで簡単に受信します。電源が切れているときでも、どのモードからでも受信できます。



操作パネルの D・M ボタンを押す。

- ボタンを押すごとに次のように切り替わります。



D・M2 (ユーザーメモリー) に好みの放送局を書き込む

- ① TUNERモードで好みのバンドと放送局を選局する。(P.17～18 参照)
- ② 操作パネルの D・M ボタンを2秒以上押す。
● 現在受信している放送局が、D・M 2 にメモリーされます。

お知らせ

- D・M 1 は AM 1620 kHz に固定されているので、書き込めません。
- D・M 2 (ユーザーメモリー) の初期設定は、AM 1620 kHz になっています。
- AMバーチャルステレオ受信、および FMダイバーシティアンテナ受信ができません。(P.19 参照)
- SPACE (音場) の設定が無効になります。(P.43 参照)
- サウンドコントロール、DDBC 等の設定変更ができません。

外部機器の音声を聴く

AUX IN ※ 後面のAUX入力コードに外部機器の接続が必要です。(P.64, 66～67 参照)

後面のAUX入力コード (外部入力) に外部機器を接続すると、その音声を聴くことができます。操作は、接続した各々の外部機器で行います。詳細は、接続した機器の取扱説明書をご参照ください。

SOURCE ボタンを押して、ソースを AUX IN にする。



DVDビデオの音声をサラウンドシステムで楽しむ

DVD IN ※ DVDカーナビゲーション CN-DV2500D とデジタルサラウンドプロセッサ CY-AC300D の接続が必要です。(P.66～67 参照)

本機のセンタースピーカーは、DVDビデオ5.1chサラウンドシステムのセンタースピーカーとしても活用することができます。ご使用になる前にソース設定で DVD入力を “ON” にしてください。(P.55 参照)

SOURCE ボタンを押して、ソースを DVD IN にする。



お知らせ

- 音量調整やサウンド設定はCY-AC300Dで操作します。詳細は、取扱説明書をご参照ください。
- 他のソースに切り替えるときは、必ずCY-AC300Dの電源を切ってください。
- 後面の FRONT, REAR は出力兼用の端子です。CY-AC300Dを接続し、ソースをDVD INに切り替えるとプリアウトに切り替わるので、プリアウトとしてご使用になる (外部ステレオパワーアンプを接続する) ことはできません。

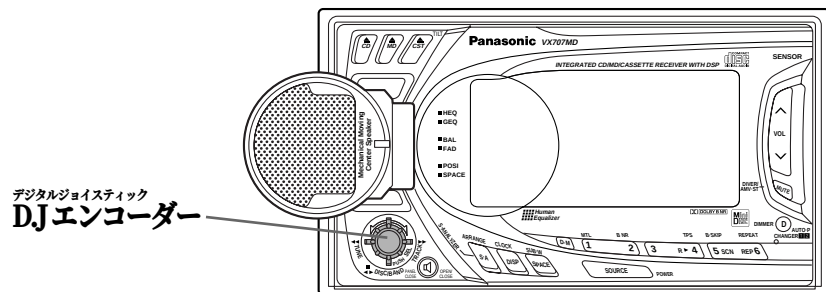
ナビの音声案内を聴く

ナビミュート ※ 別売のカーナビゲーション (CN-DV2500D等) の接続が必要です。

本機とカーナビゲーションのナビミュートコードを接続すると、カーナビゲーションの音声案内のとき自動的に本機の音量が下がるので、音声が聴きやすくなります。ナビミュートの音量は、設定ができます。(P.53 参照)

お知らせ

- ナビミュートがはたらいているときは、文字表示部に “MUTING” と表示します。
- ナビミュート レベル設定が “MUTING OFF” のときのみ、VOL 〆 〴 ボタン で本機の音量を調整できます。(P.53 参照)
- ナビミュートがはたらいているときは、操作できないことがあります。

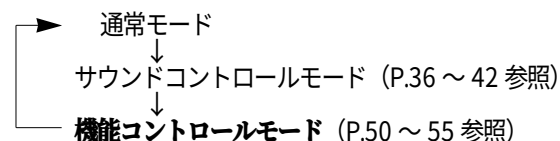


機能コントロールモードにする

モードセレクト

D.J エンコーダー (SEL ボタン) を押す。

● ボタンを押すごとに、モードが次のように切り替わります。



お知らせ

設定・調整の途中では通常モードのボタン操作ができませんので、いったん通常モードに戻してください。

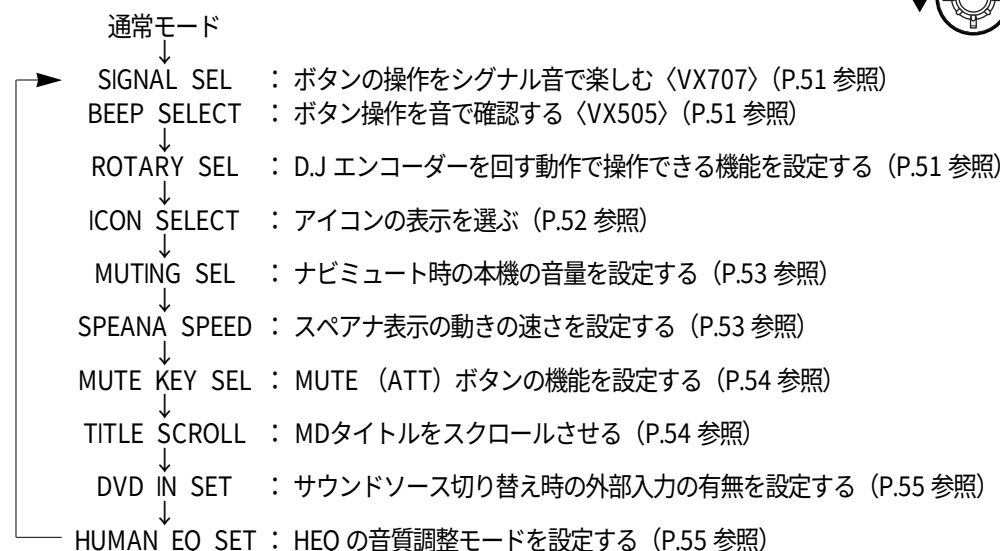
設定する機能を選ぶ

機能コントロールモード

① SEL ボタン (D.J エンコーダー) を2回押す。

② D.J エンコーダーを回す。

● 右に回すと、次のように切り替わります。(左に回す：逆回り)



お知らせ

各機能が表示されている間 (約10秒間) に次の操作をしないと、自動的に通常モードに戻ります。

● ボタン操作をシグナル音で楽しむ 〈VX707〉

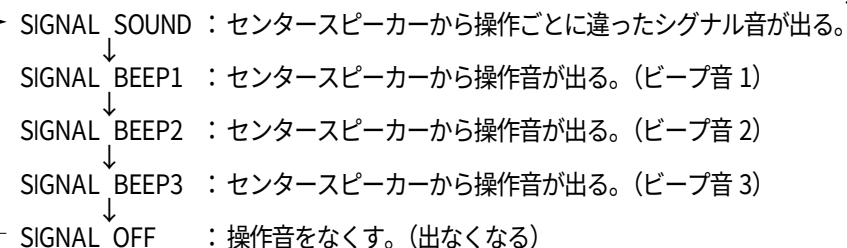
シグナル (効果音)

ボタンを押したときに出る音 (操作音) を設定します。[初期設定：SIGNAL SOUND / レベル 3]
シグナル音は操作パネルの開閉時などにも鳴り、操作を楽しく演出します。

① 機能を“SIGNAL SEL”にする。(P.50 参照)

② D.J エンコーダーを左右に倒す。

● 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)



③ D.J エンコーダーを上下に倒して、音量レベルを調整する。〈レベル 1 ~ 3〉

↑：レベルが上がる
↓：レベルが下がる

● ボタン操作を音で確認する 〈VX505〉

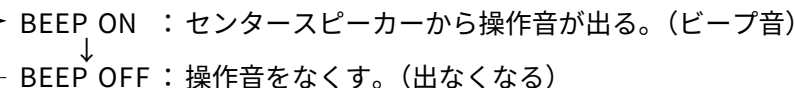
ビープ音

ボタンを押したときに出る音 (操作音) の有無を設定します。[初期設定：BEEP ON]

① 機能を“BEEP SELECT”にする。(P.50 参照)

② D.J エンコーダーを左右に倒す。

● 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)



● D.J エンコーダーを回す動作で操作できる機能を設定する

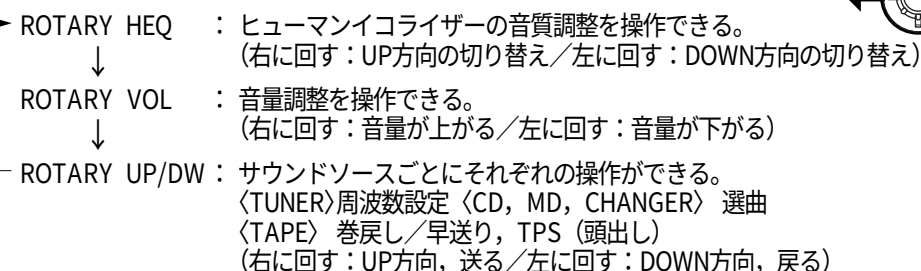
D.J エンコーダー設定

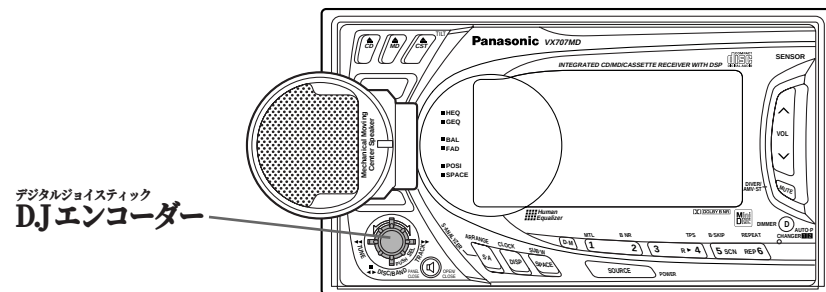
D.J エンコーダーを回す動作で操作できる機能を好みに合わせて設定できます。
[初期設定：ROTARY HEQ]

① 機能を“ROTARY SEL”にする。(P.50 参照)

② D.J エンコーダーを左右に倒す。

● 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)



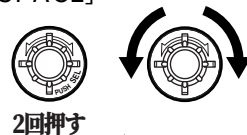


● アイコンの表示を選ぶ

ダブルアイコン表示

上下のアイコン表示部 (P.10 参照) に5パターンの中からそれぞれ別々の表示することができます。上下の表示を組み合わせるとお楽しみください。
[初期設定：上.....HEQ, 下.....SPACE]

① 機能を“ICON SELECT”にする。(P.50 参照)



② D.J エンコーダーを上下に倒し、設定する項目を選択する。

- ↑ (ICON▲ SELECT) : アイコンの選択が上部に切り替わる。
- ↓ (ICON▼ SELECT) : アイコンの選択が下部に切り替わる。



③ D.J エンコーダーを左右に倒し、表示を選択する。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)

上部アイコンの場合 HEQ → SPACE → MODE → WAVE → CLOCK

下部アイコンの場合 SPACE → MODE → WAVE → PREOUT → CLOCK

- HEQ : 現在のヒューマンイコライザー設定を表示する。※上部アイコンのみ
- SPACE : 現在の音場効果を表示する。
- MODE : 現在のサウンドソースを表示する。
- WAVE : 音声信号レベルの波形を表示する。
- PREOUT : 現在のサブウーファー出力設定を表示する。※下部アイコンのみ
- CLOCK : 時計を表示する。



お知らせ

時計が調整されていないときは、時計表示のときに“—：—”と表示されます。

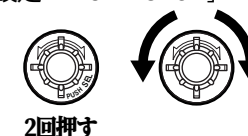
● ナビミュート時の本機の音量を設定する

ナビミュート レベル設定

※ 別売のカーナビゲーション (CN-DV2500D等) を接続しているときに有効な機能です。(P.49 参照)

カーナビゲーションの音声案内時の本機の音量を設定することができます。[初期設定：MUTING ON]

① 機能を“MUTING SEL”にする。(P.50 参照)



② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)



- ▶ MUTING ON : 本機の音量を 0 (無音) にする。
- ↓ MUTING HALF : 本機の音量を約1/2に下げる。
- ↓ MUTING OFF : 本機の音量は通常のまま変わらない。

お知らせ

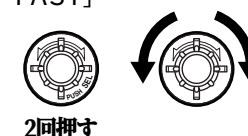
- ナビミュートがはたらいているときは、文字表示部に“MUTING”と表示します。
- ナビミュートレベル設定が“MUTING OFF”のときのみ、VOL ▲ ▼ ボタン で本機の音量を調整できます。
- ナビミュートがはたらいているときは、操作できないことがあります。

● スペアナ表示の動きの速さを設定する

スペアナスピード

スペアナ表示の動きの速さを変えることができます。[初期設定：SPEANA FAST]

① 機能を“SPEANA SPEED”にする。(P.50 参照)

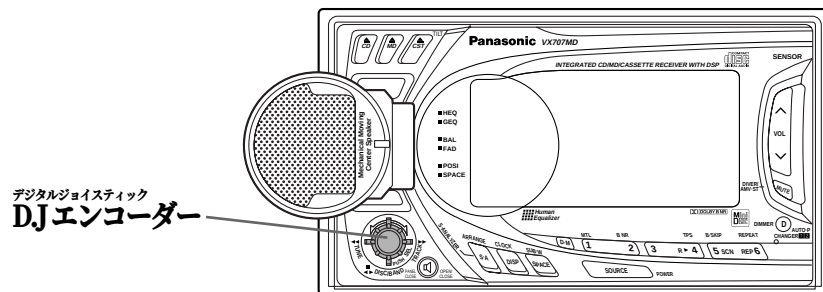


② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)



- ▶ SPEANA FAST : スペアナ表示の動きが速くなる。
- ↓ SPEANA SLOW : スペアナ表示の動きが遅くなる。

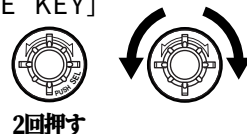


● MUTE (ATT) ボタンの機能を設定する

MUTE ボタン設定

MUTE (ATT) ボタンを押すと、一時的に本機の音量が下がります。(P.47 参照)
音量の下がりかたは、設定 (MUTE または ATT) によって異なりますので、お好みに合わせて設定してください。 [初期設定：MUTE KEY]

① 機能を“MUTE KEY SEL”にする。(P.50 参照)



② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)



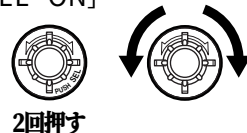
- ➡ MUTE KEY : MUTE(ATT)ボタンを押すと、音量が 0 (無音) になる。〈MUTE〉
- ↓
- ➡ ATT KEY : MUTE(ATT)ボタンを押すと、音量が約 1/10 に下がる。〈ATT〉

● MDタイトルをスクロールさせる

タイトルスクロール

MDタイトル表示 (P.27, 35 参照) は、連続してスクロールさせたり、静止させたりすることができます。 [初期設定：SCROLL ON]

① 機能を“TITLE SCROLL”にする。(P.50 参照)



② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)



- ➡ SCROLL ON : MDタイトル表示が、連続してスクロールする。
- ↓
- ➡ SCROLL OFF : MDタイトル表示が一周スクロールしたあと、静止する。

お知らせ

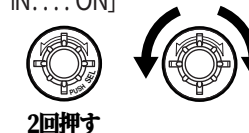
MDタイトルスクロールが“OFF”のときに、DISP ボタンを2秒以上押すと、表示を一周だけスクロールすることができます。〈再スクロール〉

● サウンドソース切り替え時の外部入力の有無を設定する

ソース設定 (AUX/DVD)

外部入力をご使用にならないときは、サウンドソースを選ぶときに AUX IN や DVD IN へ切り替わらないよう設定できます。 [初期設定：DVD IN...OFF, AUX IN...ON]

① 設定項目を“DVD IN SET”にする。(P.50 参照)



② D.J エンコーダーを上下に倒し、設定する項目を選択する。

- ↑ (DVD IN SET) : 設定するソースを DVD IN に切り替える。
- ↓ (AUX IN SET) : 設定するソースを AUX IN に切り替える。



③ D.J エンコーダーを左右に倒し、表示を選択する。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)



- ➡ ON : SOURCE ボタンを押して、切り替えができる。
- ↓
- ➡ OFF : SOURCE ボタンを押しても、切り替わらない。

お知らせ

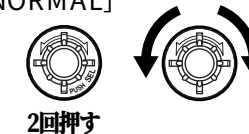
- DVD入力は、デジタルサラウンドプロセッサー (CY-AC300D) を接続してDVDのサラウンドシステムを楽しむときだけ、“ON”にしてください。(P.49, 66 ~ 67 参照)
- 後面の FRONT, REAR 端子に外部ステレオパワーアンプを接続する場合には、DVD入力を“OFF”にしてください。(P.64 参照)

● HEQ の音質調整モードを設定する

HEQ 設定

HEQ の音質調整 (P.37 参照) には2つのモードがあります。お好みに合わせて設定してください。 [初期設定：HEQ NORMAL]

① 機能を“HUMAN EQ SET”にする。(P.50 参照)



② D.J エンコーダーを左右に倒す。

- 右に倒すごとに、次のように切り替わります。(左に倒す：逆回り)



- ➡ HEQ NORMAL : 49パターンの中から音質を選び、複雑なイコライザー調整が簡単にできる。音楽ソフトのジャンルや自分の気分合った音質を設定する。
- ↓
- ➡ HEQ DAY&NIGHT : 朝・昼・夜 の時間帯によって、音質が自動的に切り替わる。それぞれの時間帯で、7パターンの中から音質を選べる。

お知らせ

時計調整されていないときは、“DAY&NIGHT”を選択できません。